

医学生から

病気だけでなく、患者さん全体を診れるように

4月に魚沼基幹病院の総合診療科にて臨床実習をさせていただきました。病棟実習や外来実習を通して、様々な背景を持ち、机上の勉強では学ぶことが難しい数々の患者さんに出会いました。今から振り返るととても濃い時間を過ごせたと感じています。

総合診療内科で実習する前には、今、問題となっている病気だけを診察や検査を通して、素早く掴み、的確に対応することが医療だと思ってました。そのような診療が大事な時もありますが、実際には、訪れる患者さんは一筋縄ではいかない病気や生活上の課題を抱えておられることも稀ではなく、病気を治すことだけがゴールでないことを学びました。

そのような観点から、この総合診療の実習で、患者さんを診る、という総合診療の重要な部分を学べたことが一番の収穫です。

多くの症状の中で最も問題となっているものがどれか、患者さんにとって、どのような治療や対応が最適なのか考えることの重要性を指導医から教えていただきました。

この濃密な実習で得られた臨床の経験が将来、活かせるように、日々勉強していきたいと思えます。